



長 崎 県
中小企業家同友会

DOYU

ニュース
21

E-mail jim@nagasaki.doyu.jp
U R L http://www.nagasaki.doyu.jp

本部事務局 長崎市栄町1-20 大野ビル5F ☎(095)822-0680 FAX (095)824-4623

同友会理念を学び深め、21世紀を切り拓く企業づくりを ＝地域に根ざした人間尊重の企業づくりを＝

中同協 九州・沖縄ブロック

第6回支部長・支部活動研修交流会 in 大分（1）

- 開催テーマ/何のための同友会か?を追求し、企業経営と同友会運動を不離一体のものとする。
- 日時/5月24日（木）午後1時開会～25日（金）午前12時30分閉会
- 会場/ホテル白菊

長崎支部 浦上地区会：池田 繁隆

一度は県外の行事にも参加したいと思っていましたので、まずは九州からと今回初めて九州沖縄ブロック支部長・支部活動研修交流会に参加しました。

1日目は兵庫同友会の田中代表理事と宮崎同友会の粕木さんの報告から始まり、グループ討論となりました。まず感じたのは皆さんの同友会活動と企業経営に対する意識の高さでした。討論の中で経営指針は作るだけでは何にもならない。少しずつ社員のモチベーションを上げ、社長と社員の思いを近づける。そのための道具にしなければならない。例会に社員と一緒に参加したり、同友会で企業訪問を行い、社員も参加させたり、例会で学んだ事を反復して学習している方もいました。

自分なりのまとめは『真のリーダーとは自己を磨き、気づき、学習した事を活用していく人間』だと思いました。

2日目は（資）若竹屋酒造場の林田さんが企業変革プログラムについて話をされました。変革とはこれまでのやり方が何も問題がなくてもそれで良いのかと考える。出来る事をするのではなく、

やるべき事を見いだして行動を起こす事が大切だと学びました。

最後に地元大分同友会の岩尾さんが報告されましたが、同友会で学んだ事をしっかり自社の経営に取り入れ、実践しておられました。

2日間の研修を通じて、企業経営の方法や社員との関わり方は各社違っており、自分も気づく力をもっと磨いて一番いい道を標して行きたいと思えます。また企業経営も同友会の運営も同じで良いリーダーになる事が大事だと気付きました。思っただけで無く、少しでも実践して今回同じテーブルになった方と再開した時に成長できているように頑張ります。



目次

中同協 九州・沖縄ブロック	新入会員・交代の皆さん	14
第6回支部長・支部活動研修交流会 in 大分（1）	7月例会案内	15
5月例会報告	理事会報告	16
2012年度 理事登場!	会員消息・会員数	16
会員活躍	新事務局員紹介	16

佐世保支部：村山隆之

今回の別府市開催の「支部長・支部活動研修交流会」は感慨深いものがありました。なぜかという、私が平成7年に佐世保支部入会した翌年の支部長研修会は大分で行われました。当時の佐世保支部長の芥川氏より、「村山君、僕が行けないから代わりに君が行きなさい」と言われ、すぐに「はい」と返事しました。その大分での支部長研修会で同じテーブルの福岡同友会のお一人から「村山さん、あなたはまだ勉強が足りないから、福岡同友会で開催している志賀島の経営指針づくりセミナーに行きなさい」と言われ、早速大分から戻り受講する事になりました。父から社長を引き継ぎ、13年間毎年経営計画書を作り、毎年発表を続けているのは、昔大分で受講した支部長研修会のお陰なのです。

今回、別府と大分で場所は違いますが、昔の思いが蘇りまた佐世保支部の山領さん、尾崎さんと車中で経営について語りながら行くのも良いなと思ひ参加に至りました。やはり行ってみると、参加者のパワー、熱気が肌に伝わりこちらまでもエネルギーが沸いてきました。

田中信吾兵庫同友会代表理事のお話は辛口でした。しかし、それくらい辛口で指導できるだけの

会社にまずは自分がしろよとハッパを掛けられたお話でした。

次の初木真一郎宮崎同友会宮崎北支部代表幹事の報告では、今の厳しい外部環境を乗り越えるため新規事業にチャレンジしている二代目の真摯な姿に感銘を受けました。

今回の研修交流会に参加して、やはり会社でも同友会でも他のあらゆる組織の隆盛は、トップの言動、行動にかかっているとつくづく感じました。九州管内の同友会の仲間と語り合い、同友会はずばらしい会だ、やはり参加して本当に良かったと思えた次第です。準備に当たった大分同友会の皆さん、ありがとうございました。感謝



佐世保支部：山領 進

田中信吾代表の報告で印象に残った言葉は、「同友会は学びが少なくなってきたからが大事」と言う言葉でした。「入会して間のない頃は全てが勉強になると感じるが、会暦を重ねる毎にそういう気持ちが薄れてくる。しかし、それは裏を返せば、その人が成長した証しでもある。ベテランになってからは、日々の活動の中で、ひとつでもいいから何かを吸収するようにしなさい」という話でした。

兵庫同友会では、支部長・副支部長にはお互いの会社の決算書をオープンにすることを義務づけているそうです。執行部を担う会員は、しっかりと自社経営の裏づけを求められるわけです。さらにそれは役員による会社訪問によって行われますので、社員や社内の雰囲気までチェックされるそうです。その結果として、日々懸命に勉強し努力している人が執行部に集まっているそうです。

また田中代表の話の中では「強く」という言葉

が何回も出てきました。同友会の目的のひとつ「よい会社」とは、強い会社でなければならないと語っておられました。

「企業変革支援プログラム」の研修からはやはり、計画的に組織的に取り組むべきであると感じました。まずは、役員が時間を決め場所を決め、一泊二日くらいの予定を組むくらいのつもりで実施するのが良いと思います。そして、役員の体験事例に基づいて会員さんに広げていくことが良いのではないのでしょうか？

「グループ討論」の中で感じたことは、各県同友会とも、とてもよく会運営を勉強されていることです。例会ひとつをとっても色々なバリエーションを試しておられます。役員会も細やかに準備をして開いておられます。私も支部の活動に各県の良いところを取り入れて、適切な提案をしていきたいと思っています。

長崎支部 浦上地区会：内山洋二

長崎支部からは池田繁氏、町田貴氏そして私と3人参加（県全体では事務局含め11名）。

一日目は兵庫同友会代表理事 田中信吾氏の報告でスタート。

「役員として会員の模範になる強靱な企業づくりへの挑戦」と題し、報告された。同友会運動と企業経営は不離一体です。まず、問題意識（危機意識）を持つ・方針が明確である事（シンプルで分かり易い）⇒経営理念・そして行動（実践）する。経営理念を実現する為に経営する（都度々々の経営を経営理念に照らし合わせる）そして分からない事が一つでもあれば同友会へ出て学ぶことです。同友会運動も企業経営もリーダーシップ（場合によっては二つも組織をコントロールする）・自分で問題を見つけ変化を起こす・安定と効力を追求する為改善する・現実を正確に見て、自分の言葉で話すことを学びました。

二日目、経営フォーラムでもお世話になりました若竹屋酒造場 林田氏（福岡同友会副代表理事）の報告でした。企業変革支援プログラムは同

友会会員企業を強靱な企業にするためにある。まずステップ1にて成熟度を見る。時代の企業への要求として、お客様へのサービスを時代とともに変化していく為、お客様の価値を創造する事が変革するという事です。その価値を企業の価値と同一に捉え続け、やるべき目的に一步步歩いていく。そのためには検証する仕組みは出来ているか、その価値にぶれない経営をして行かなくてはならない。社員、パートナーと対話し、気づきをもらい、深める事、これがステップ2です。まずはステップ1で自社の立ち位置を確認し、ステップ2にて企業プロフィールを書くことから始める。①、②は社長が自ら取り組み、③以降は社員を巻き込んでほしい。ステップ2で出てきた経営課題は一つ一つ取り組み、優先順位を決めてやる。そして社長は社員の力を引き出だすことに努め、計画書に基づいた経営に努める。その結果として社員は安心して会社に勤める。林田氏の話聞き、初めて企業変革プログラムを本気でやってみようと思いました。たくさんの気づきを頂きました。来年は長崎の地での開催です。支部・地区役員の方、奮って参加しましょう。

島原支部：敷島広太

支部長として2回目の支部活動研修交流でしたが、昨年同様島原からは1人のみの参加で残念でした。研修会では他支部の活動が参考となり、複数での参加はそれぞれの感じ方があると思うのでやはり同支部から2、3名は参加したかったという想いがあります。

初日の兵庫同友会代表理事の田中氏の報告は歯切れのいい説得力のある話でしたが、仕事の関係で最後の方しか聞けなくて残念でした。ただ印象的だったのは「企業経営と同友会活動は不離一体」ということで、自分自身いつの間にかこうではなくなっているとハッとしました。

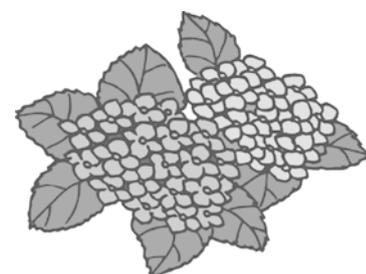
「自分の会社を少しでもよくしたい」純粋にその想いで往復3時間車を走らせ参加していた入会の頃に比べて、役員となり支部長となった今では、例会や役員会の参加率や増強が思うように出来ないこと等、支部長として支部をよくしなくてはという責任と自分の会社経営をよくすることが全く別物になってしまっていることに気付いたので

す。
同友会で学んだものをしっかりと経営に生かし

て会社を成長させることができれば、それが会員の模範となれるのだと確認できた次第です。そしてひいては時間はかかっても増強にも繋がっていくのではないかと思います。他にも、入会した人に同友会の本をプレゼントしたり、会員の満足度アンケートを実施するなど参考になる話を聞くことができましたが、この2日間を通して特に思ったことは社長が成長しないと会社も成長しないとされるのと同じように支部長が成長しないと支部も発展しないということです。

また、単純なことかもしれませんが、日頃から会員に声をかけることが大事であるということ。そしてそれは会社でも同様で日々心掛けたいことだと強く思いました。

2日間、ありがとうございました。



同友会事務局：芦塚誠司

今回の研修で、同友会は自社を良い会社、強い会社、地域になくてはならない会社にするために学べる場、変革していける場であるという事を改めて感じました。

企業経営のトップとして、同友会活動を通じてモノの見方、考え方（感性）、リーダーシップを磨き、良い取り組みは積極的に模倣し、取り入れながら、企業と会活動を両輪のものとして発展・活性化されてきた田中氏、粕木氏の報告には大きな刺激を受けました。

田中氏の「同友会では学びが少なくなってきたと感じ始めてからが勝負である」という言葉が非常に印象に残っています。企業づくりに活かすことができる会活動を行うことの重要性を考えさせられました。

各支部の「あるべき姿」に向けて、組織全体で目的・方針・目標を共有し、事務局としても共に本気になって活動を推進していく事によって同友会の意義というものが明確になり、かつ周りに定着していくと感じました。

ではその「あるべき姿」に向けてやるべきことは何か、それを示してくれるものが企業変革支援プログラムであり、2日目の林田氏の報告へと繋がっていきます。

自社（支部）の「今」を整理し、足りない部分

や問題点を明らかにした上で、それらに優先順位をつけながら、各個撃破していくためのツールとして活用できるものと話されました。それは支部活動や事務局としての活動においても同じことが言えると思います。

現在、その存在が会員各位に十分に認知されているとは言えませんが、今後、例会のテーマ設定や、各委員会活動に今まで以上に積極的に取り入れて、周知・浸透させ、企業づくりに寄与していくべきと感じました。

会活動で学んだことを各企業で実践し、その結果をまた会活動へ反映させるという学びと実践のサイクルを大きく、密に展開していくことによって更なる発展、活性化に結び付くと気付かされました。参加機会を頂き、ありがとうございました。



福岡同友会の皆さんによる「SMILE AGAIN」合唱

長崎支部 浦上地区会 例会報告

日 時	5月29日(火) 午後6時30分
会 場	ギャラリーヘキサ
テ ー マ	「発展を守り、攻める」
報 告 者	プライム(株) 町田 貴代人 会員



今月の長崎浦上地区会の例会は、今年度から新しく地区会長に就任されたプライムグループ代表の町田貴代人会員にご報告頂きました。テーマは



「発展を守り、攻める」

人望の厚い町田会員の報告ということでお父様、お母様をはじめ、多くの会員とオブザーバーの方々に参加して頂きました。

今回の例会は少し、珍しいパターンでした。

報告内容が同友会についてと二年前に行かれた日本一周の旅について話を繰り広げられました。

町田会員は2006年6月に入会されました。同友会に入会するまでは会社の業績も順調に推移

しており、経営の勉強に必要性を感じなかったと言います。しかし、同友会に入会してみると自分の無知さを知り、井の中の蛙になっていた自分に気付いたそうです。それからは、同友会活動に積極的に参加するようになったとの事です。

また、100日間もの日本一周の旅の話が非常に印象的でした。町田会員は以前から日本一周の旅を計画されていたようで、移動はバイクを使用し、寝泊りは野宿だったそうです。旅にはさまざまな目的があったとの事ですが、一番の目的は“自分の生命力の確認”だったと言います。万が一を想定して遺言書も書いていかれたそうです。そして日本一周をスタート。九州一周から始まり、太平洋側→北海道→日本海側の順序をたどりました。特に印象的だった地域として鹿児島県の知覧、北海道の洞爺湖、大阪のあいりん地区を挙げられ、当時の感情を写真を交えながら報告頂きました。

グループディスカッションでは「報告者のこのような生き方をどう思われますか？」というテ



マで討論されました。討論では「100日も会社をあけて時間を作れたことが羨ましい」という意見が多かったです。これも町田会員が同友会に入り多くのことを学び、自分が居なくても会社が回るしくみ作りを築き上げられたからだろうと感じます。町田会員には7月にも報告をして頂きます。次回も楽しみにしております。

(文責 平野圭司)

長崎支部 出島地区会 例会報告

日 時	5月23日(水) 午後6時30分
会 場	サンプリエール
テ ー マ	「時代に合わせた業態展開で活路を！」 リーズナブルな価格で一流のサービスを提供。 立地、知名度、長崎一番店をめざす
報 告 者	(株) 永生堂(子悪魔グループ経営) 取締役社長 山口 憲男 会員



司会は橋本会員、座長は濱田会員で、報告者は「長崎の夜を語るには…」で有名なクラブ子悪魔(株)永生堂の山口憲男会員です。

山口会員は、20代で友人に騙された借金を背負い、様々な仕事を経験しながら、常に時代に合わせた業態転換で事業に積極的に取り組み、失敗と成功を繰り返し、30代で取引先の業者からの紹介で、現在の店舗の前身「ラウンジ子悪魔」を



長崎でオープン。子悪魔を継続しながら、新しい事業に次々と取り組み、現在は長崎思案橋に4店舗のお店を構え、営業されています。

山口会員は、元々名古屋で仕事をされ、事務所も名古屋にありますが、長崎に仕事で訪れている内に、長崎の魅力に取り憑かれ、近いうちに思案橋観光(株)を設立して長崎の飲食店とコラボし、長崎観光を活性化させたいと将来像を熱く語っていただきました。

山口会員の成功事例より失敗事例を包み隠さず話していただき、「波瀾万丈な人生だが、決して失敗した時にくじけず、常に新しい事に挑戦する姿勢に、感動、共感し、またその事をやるしかなかった」と語った様は、多くの会員に勇気と希望をいただきました。

時間は少しオーバーしましたが、会員全員がま

だまだ聞き足りなかった様で非常に盛り上がった例会でした。

また、今回から新しい試みでディスカッションの内容を更に充実させようと事前にテーブル長研修、テーブル長ミーティングを実施し、大阪同友会の例会をヒントにさまざまな工夫を凝らし、テーマに沿って討論に集中できるよう実践。かな

り、白熱した討論が各テーブルから聞こえ、大成功だったと思いました。

またひとつ、参加された会員全員、今日の報告と討論で学んだ事を会社に持ち帰り、仕事で役立てて頂けたと思います。

(文責 横山伸司)

大村支部例会報告

日 時	5月23(水) 午後6時30分
会 場	長崎インターナショナルホテル
テ ー マ	私にとっての同友会 ～本音で語ってますか?～
報 告 者	(有) 大和設備工業 山本 進 会員



5月の大村支部例会は、(有)大和設備工業の山本会員に報告頂きました。

進行は、プロジェクターと手元の資料に沿っていただきました。資料は絵もなく写真も図もない文字だけの至ってシンプルなものでしたが、内容は山本会員の出来事に対する気持ちやその事に関する内容が一枚ずつ綴られ、さながら文字の紙芝居のような印象を受けました。それをただ読み進めるのではなく、その当時を振り返りながら、一枚一枚事細かに報告され、時にはその時のご自身を戒めるかのように、「バカだった」「ひどかった」「最悪だった」というキーワードを何度も使われました。それは経営に関する事をはじめ、社員に対する事、そして家族に対する事全てを話して頂きました。

普段は社員の方と会う機会が多く、山本会員とは話す機会がないのですが、これまでは「信念と向上心の塊」というイメージがありました。

しかし、同友会入会前は現場主義の破天荒で泥臭い意外な一面もあったのかと、親近感を感じました。そして、「紙芝居」は入会後の転機を迎え、



同友会の魅力や自社の経営への影響が大きかったこと、そして、その後の変化など大きく感銘を受けました。

グループディスカッションでは、「同友会の良さは何でしょうか?」というテーマで各テーブルにて熱い討論が行われました。様々な立場(入会年数の違い)で感じ方や捉え方があり、私を含めてまだ年数が浅い会員は「正直わからない」「まだまだ活用できていない」といった話もできました。しかしながら「業種は違うが、色々な方の話を本音で聞けたり、相談できたりできる」というメリットが大きく有ることも感じることができました。

そして今回はオブザーバー参加のお二人より、入会の意思表示を頂きました。

共に頑張って同友会を100%活用できるようにしたいと改めて認識できる例会、報告でした。

(文責 伊東広純)

諫早支部例会報告

日 時	5月18日(金) 午後7時
会 場	諫早観光ホテル 道具屋
テ ー マ	会員は辞書の1ページです。第1弾 当社はこんな仕事を行っています。
報 告 者	(株) ハート不動産 代表取締役 村山 和幸 会員 諫早はなみずき法律事務所 上村 基貴 会員



諫早支部5月例会は、新入会員の顔と会社内容を知って頂く為、お二人の方に自己や自社について報告して頂きました。昨年4月から大村支部より移籍された村山会員は、諫早市・大村市を中心にアパート・貸家の斡旋及び管理、中古住宅

や土地・事業用地の仲介や競売物件入札代行等、売買物件の取扱いを主に行なっている(株)ハート不動産の代表です。

お客様第一主義、地域No.1主義をモットーに住宅を通してお客様に幸せを提供したいとの思いで社名は「ハート」とつけられました。会社の強みとしては一人でやっている所以对応も早く、ネットワークが良い、それに事務所経費がかからないと言う事です。弱みとしては外に出ることが多いので店内にいない分、ご来店になった方への対応ができないと言う事、経営基盤が弱い事であるとの事でした。悩みとしては賃貸管理が増えないのでなかなか売上に繋がらないとのことです。同友会に入ってよかったことはさまざまな世代、様々な規模の会社の経営者と話し、相談できる事で色々な学びがあるということです。将来は賃貸管理を毎年100件増やしていけたら。また、フランチャイズなどに加入して多店舗化していきたいと夢や目標を持っているそうです。

そして、もうお一人は、諫早はなみずき法律事務所の上村基貴会員です。上村会員は兵庫県出身で弁護士になって3年目の若さと行動力のある28歳です。弁護士として一通りの事を経験して、様々な業種の人と付き合い合っていたことが同友会に入ったきっかけです。同友会の皆さんと弁護士との付き合いとして、長崎の弁護士は基本的には何の事件でもやるので、やはり問題が起きた時には相談できる弁護士がいたほうがよいとの事。民事事件、刑事事件等、色々な相談がありますが、圧倒的に多いのは個人、会社から相談を受けての受任です。裁判所から選任を請ける仕事もあるそうです。



同友会に入ってから、様々な職業の人と知り合うことができ、年齢に関係なく接してもらえる。また、感想を聞かれることがよかった。経営者の方はいつも様々な事を考えているんだな~と思うそうです。まだまだ色々なことを学んでいきたいという若さあふれる上村会員でした。



(文責 山田圭一)

ホームページのバナー広告を募集しています！

●お問い合わせ●
事務局まで
(月500円です)

~これからのくらしの器~
回白山陶器

長崎 築町
魚なかじま

チョコ醤油株式会社

九州ゴルフ会員権取引:ホームページ制作
クオンティカンパニー

長崎のお漬物
ひまわり

広告のアクセス
テレビCM・チラシ・ホームページ

勝茶家
株式会社 岩崎商事

長崎、福岡のホームページ制作
arttech

松永いづみ
税理士・行政書士事務所

島原支部総会・例会報告

日 時	5月17日(木) 午後7時
会 場	ホテル南風楼
テ ー マ	「今後の市政について」
報 告 者	島原市長 横田 修一郎 氏



今月12日から15日まで、国際ユネスコ会議が島原市で盛大に行われました。その余韻が残る17日の島原支部定時総会にて、今回報告頂いた横田市長は疲れた様子も

見せずに熱心に島原市政について解説していただきました。

横田市長の報告は、島原市の最近の主な取り組みをはじめ、現在島原市が抱えている諸問題等を島原半島の統計資料を使い、島原市の実情を分かりやすく解説していただくというものでした。

今年の島原市の主な取り組みとしては、5月にジオパーク国際ユネスコ会議、10月に全国和牛能力共進会・長崎大会が実施されます。また、平成26年の長崎がんばらんば国体に向け、体育館と弓道場の整備が予定されております。他にも地域高規格道路や特産品のブランド化、雲仙普賢岳の溶岩ドーム崩落対策の推進、島原城築城400年を見据えた街づくりの促進、企業立地・誘致の促進等々、数多くの主要課題重要事業がありました。

長年、島原市に住んでいて島原市の課題についておぼろげには認識していましたが、横田市長の説明で明確に認識でき、多くの問題が山積していると感じました。今回、島原市政の話聞き、市



新入会 太田会員へのバッジ贈呈

政を通じて自分たちの会社の在り様をどうしたらよいか考える良いきっかけになりました。

懇親会では各テーブルで自分たちが住む町の今後の姿について活発に議論され、各人が島原市の将来に期待されている様子でした。横田市長へ島原市の人口減少についてどのような取り組みをされているかという質問に対して横田市長は「若い人が多くの子供を安心して産み育てる環境を整えることが大切だ。雇用の拡大など難しい面も多いが、一歩ずつ確実に実現したい」と言われました。

今回の横田市長の報告で市も厳しい環境下でご苦労されていることを理解できました。

今後も市として取り組むべき様々な事業を確実に実行していただきたいと横田市長に期待するばかりです。

(文責 大町行弘)



新商品

長崎さるくマット

ダスキン栄進
TEL823-7633

瀧川 隆 会員 (長崎支部 出島地区会)

広告募集

< 4 cm × 9 cm >

複数月	6ヶ月	12,000 → 10,000
	4ヶ月	8,000 → 7,000
割引	3ヶ月	6,000 → 5,000

佐世保支部例会報告

日 時	5月18日(金) 午後7時
会 場	佐世保市民会館
テ ー マ	「情報をわかりやすく、 効果的に伝えるためには？」
報 告 者	V Force 代表者 木村 貴子 会員



今回の報告者は、入会1年目の木村貴子会員です。当日はオブザーバーが9名、会員が32名合計41名で、佐世保支部では久しぶりに多くの参加で開催することが出来ました。

木村会員の報告次第で、オブザーバー

9名が入会か否かの判断をされる重要な報告となりました。

木村会員の仕事は映像プロダクションでテレビ番組やテレビCM制作、官公庁や企業用ビデオ、イベント、展示映像など様々な映像コンテンツ制作で経験と信頼を築いてられています。

スーパーマーケットやパン屋さん等の有名なCMも木村会員が制作され、美しいナレーションも自身の声を使っておられます。

小学校の時の夢は声優になる事であった事もお聞きし、高校は放送部でNHKのアナウンサーの指導を受け、頑張っ、今の木村会員が感じました。

堂々と通る声で報告されますので、参加者は全員その報告に引き込まれていきました。

自社のCMを作るなら、いくら位費用がかかるのか、是非木村会員に作ってもらいたい。テレビ



CMは費用がかかるなら、同友会のメンバー合同で作ってもらい、スーパーや駅で放映できないものかと、我々の聞き手も夢が膨らんでいくのです。

映像で人に見てもらえる事は、非常にわかりやすい伝達方法です。例として、佐世保駅前の開発が始まる前に作られた住民説明用の3DCGを見せてもらいました。なんと、あれから10年経っている佐世保駅前は、その映像通りの街になっていました。

高い技術力と最も安く、良い作品を作られ、心まで届く仕事をされている木村会員、ありがとうございました。

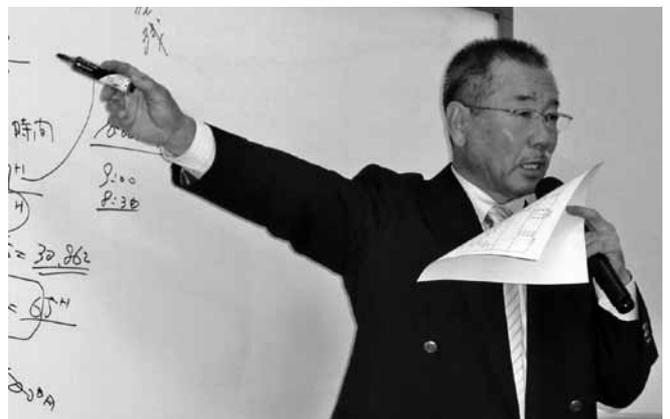
(文責 江口陽一)

北松浦支部例会報告

日 時	5月30日(水) 午後7時
会 場	サンパーク吉井
テ ー マ	「労使問題」
報 告 者	ラッキー自動車(株) 専務取締役 安富 哲夫 氏

企業(経営者側)と働いている社員との間で起こるほとんどのトラブルの原因は、コミュニケーション不足と言われています。

経営者にしても、そこで働いている社員にしても非常に個性豊かな人もいます。その個性が良い方面にでれば何も起こりはしないのですが、お互いに悪い方面に向かったとき、トラブルが起こり



やすくなります。

企業経営を存続させるひとつにも、やはり転ばぬ先の杖で、前もってすべきことをきちんとして



おく必要があります。今回、労使間問題に詳しいラッキー自動車(株)の安富専務を報告者にお呼びして、諸問題の事例と併せてその対処法などの具体例をお話していただきました。手作りの見やすい資料と、丁寧な説明のお陰もあり、各テーブル討議がとても熱心に行われていました。

今年1回目の企画例会担当の私としても例会



が大成功に終わり、一安心しました。安富氏に感謝するとともに、これからの北松浦支部の会員における仕事の発展に少しでもお役に立てる例会を追求していくことがますます大切だと感じました。

(文責 松永いづみ)

青年経営者会総会報告

日 時	5月19日(土) 午後7時
会 場	思案橋 いろは
内 容	定時総会



今月は、「定時総会」となりました。今期から「副会計」を増役して、次年度への引き継ぎやすさを考慮し、運営の効率化を目指します。

又、私自身、自分の会社で経理に携わず全く分からなかったことが、青経の会計をして大変勉強になったので、自分を成長させる勉強の一環とも思っています。

総会には、長崎支部 内山支部長、出島地区会 中村地区会長、OBの吉田國廣さん、北九州青年懇話会のメンバー11名の方々にご来賓として参加をして頂き、青経に対しての期待感を感じました。

しかし、現在の青経は会員数が22名であり、伸び悩んでいることが、プレッシャーでした。今



期の青経活動目標を、「青経の魅力を伝え、会員を増やし、活気ある会にしていくこと。」その為に、全国大会に一人でも多くの会員に参加してもらうことを伝え、みんなが理解し、賛同してくれたのは嬉しかったです。

実際、全国大会に行き、他県の青年部会員と話をした時、今まで義務として同友会に参加をしていたことを、恥かしく思うと同時に、初心に戻ることができ、同友会のすばらしさを再確認しました。順番は逆かもしれませんが、私はそれから変わったと思います。

地区会例会に参加し、そして全国へ、自分から動けば自分が成長する、積極的にみんなで頑張っていこうと確認できる総会でした。

これから1年、青経全員で成長して行きましょう!

(文責 西村繁彦)

2012年度 理事登場!



代表理事 松尾 慶一

今期、5年目の代表理事に就任しました松尾です。また今年も会員の皆様と一緒に会員企業の成長・発展と私達を励まし応援して下さい、長崎県の行政や各種団体の皆様と共に地域の為に同友会運動を通じて努力して参りますので、ご協力を切にお願い致します。



副代表理事 金井 政春

恐れ多くも重責である副代表理事を昨年に続き、仰せつかりました。昨年までは旧3ブロックのブロック長が副代表理事でしたが、今期より代表理事の指名を受けての就任となりました。よって県央地区の代表との意識より本来の職務である代表理事を補佐し、会の運動・活動を推進するために努力したいと思います。今年は創立40周年の節目のとして、盛大な記念事業と長崎同友会として最大規模のフォーラムが計画されています。中村知事を初め多くの来賓の方に参加頂いた総会に続き、会外の多くの方に同友会を認知して頂く機会にしたいものです。その他の主な取組みとして中小企業振興条例制定運動、長崎がんばらんば塾、各支部例会の充実、県・支部委員会活動の充実に向け出来る限りサポートし、会員企業の発展と自社の存続に結びつけたいです。1年間宜しく申し上げます。



例会委員長 尾崎 彰宣

当委員会では、今まで以上に経営体験報告の充実をはかり、例会のあり方の原点に帰り、内容の充実を図るべく、支部（地区会）への情報・ノウハウの提供などのサポート体制を強化していきます。また、例会委員会の役割として、全国大会への参加促進があります。一人でも多くの方に全国大会に参加していただき、有益な情報を支部に持ち帰っていただければと思います。一年間、よろしく申し上げます。



経営・労務委員長 松永 いづみ

この委員会の役割を模索しながらの1年目でした。

委員長の私が、リーダーシップをとらないといけないのですが、逆に県の委員メンバーにお知恵や助けを頂きながら、どうにか1年間がすぎました。メンバーに感謝しながらの2年目スタートです。

今年度の事業目標は、昨年度より続いている半日コースの長崎がんばらんば塾の開催を6月、9月に行うと共に、1泊2日の研修コース企画を模索しながら、出来れば年内に1回目が開催できる様、計画・予定しています。あわせて、委員会の中で企業変革プログラムのステップ1の学習も進めていきます。それをまた一旦県が主体となり、3年目や4年目には研修会を開催出来るようにしたいと考えております。

本年度もよろしく申し上げます。



情報広報委員長 瀬頭 信介

今年度、情報広報委員長を仰せつかりました諫早支部の瀬頭です。

今年度の情報広報委員会は、広報誌の充実、e-doyuの更なる活用、ホームページの拡充、を活動方針に掲げております。全ての媒体を会員の皆様方にご活用頂き、情報の共有化のみならず、会員間のビジネスマッチングを始めとした経済交流に反映させていただければと考えております。

また今年度は「40周年記念事業」が控えております。情報広報委員会としても、盛り上がるよう各媒体を駆使し、発信していきたいと考えております。

まだまだわからない事も多いですが、一年間精一杯務めさせていただきます。どうぞ宜しくお願い致します。



仲間づくり委員長 上谷 直人

昨年は始めて仲間づくり委員長という理事職を仰せ付かり、前任の功績を基に一年間委員会活動を推進して参りました。今期二年目を向かえ会員増強においては、改めてハードルの高さに緊張感を覚える毎日です。同じ県内でも企業の数や地域の格差を感じられますが、毎月中同協より配信される増強ニュースからは、長崎同友会の対企業組織率は、2.56%程との事。500名の会勢になったとしても3.2%と1%も比率は上昇しないのです。まだまだ多くの企業家たちが、我々同友会から声を掛けてもらえるのを待っておられるのかもしれませんが。それは意外と私たちの身近にある事業所の経営者かもしれません。

中同協が目標とする組織率は10%です。今期は創立40周年という大きな節目の年、会員一丸となって組織づくり、地域づくり、仲間づくりに励みたいと思っています。



経営フォーラム担当理事 町田 貴代人

この度、経営フォーラム担当理事を拝命致しました町田貴代人と申します。「経営フォーラムの運営方法を確立する」事を目的として活動して参ります。①最小限の人数で、最大限の効果が発揮できる様に ②準備過程を通しての学び合いが出来る様に ③当日、実行委員も学べる様に 以上を活動方針として活動して参ります。次回開催支部の実行委員各位がスムーズに運営できる様、皆様のご協力を頂き、運営方法を確立して参ります。皆様のご指導、宜しくお願い致します。頑張ります！

トリナソーラー太陽光発電の販売協力店を大募集!

トリナソーラーは **1kwあたり 30万円代 取付費込**
超ローコスト!しかもハイパワー!

産業用50kw以下のコンパクトな小規模発電所プランをパッケージ販売!
 スマホ(アプリ)で発電量を管理できる

もちろん住宅用もOK!

↑内島のECO提案↓
 現代社会に、わずかしが残っていない良質の古材を保護し、再利用していきます。古材は、地球の宝だと考えます。

売ります! 買います! 活かします!

トリーナ・ソーラー正規特約店
(資)内島材木店 TEL0957-62-2022
 長崎県島原市新馬場町 <http://uchijima.jp>

建築古材屋
 古材ショップのホームページは <http://www.kentikukozaiya.co.jp>

内島 範喜 会員 (島原支部)



大村支部長 宮田 正一

大村支部は、今年も「会員が主役の支部運営を行い、会員の要望・相談に応え、会員企業の発展に役立つ会を目指します」を活動方針に掲げ、会員同士がより近い距離で活動が出来、会員の資質向上や、仕事により役立てるよう、頑張っていきたいと思っています。

企業経営と同友会活動は、不離一体であると、今年の九州地区の研修会で学んだ通り、会社では社員が、また同友会では会員が活躍する場面をつくっていくことが、経営者、あるいは一ダラーの役割ではないかと思っています。また、同友会の良さを共感し、共に発展する仲間をもっと増やしていきたいと思っています。今年も大村支部の仲間と一緒に前を向いて進んでいきます。どうかよろしくお願ひします。



諫早支部長 山田 康成

諫早支部長歴が最長となる5年目に突入しました。2009年、島原支部と分割時は33名でしたが現在47名にまで会員拡大できました。今期の目標は60名です。10月の経営フォーラムまでに達成を目指して仲間づくり委員会も張り切っています。今年は委員会活動を活発に行うことを推進しています。例会に出席できず、疎遠になっている会員さんも委員会に出席することで同友会の良さを再認識して頂こうと思っています。役員だけでなく会員一人一人の意見を聞きながら「明るく、楽しく、活気ある諫早支部」にして行こうと思っています。また会歴や年齢にこだわらず、積極的な人を役員に登用して支部の活性化を図っていきたいと思っています。



佐世保支部長 川下 眞文

今年も佐世保支部は元気です！その元気な佐世保支部で40周年記念経営フォーラムが開催されます。実行委員会では構想を練り、着々と準備を進めていて準備の段階から全会員に参加協力をして貰い、仲間意識を高めて相互の絆が深まる事を目指しています。そして経営フォーラム終了時には佐世保支部会員100名を達成する事を願っています。

各委員会も活発に活動を行い、『実の有る例会づくり』『障害者問題』『人間尊重経営』『仲間づくり+増強』を真剣に議論し、より元気な佐世保支部にする為に頑張っています。

佐世保支部は元気です！どうかその確認の為、10月6日には佐世保へお越し下さい。

会員活躍

▼長崎新聞(6月1日) 長崎支部・浦上地区会 会員

中尾会長(68)らは31日、長崎市役所を訪れ、田上富久市長にゆうこうチリンチリンアイスを贈った。田上市長は「酸味が強くなく、上品で爽やかな味」と絶賛。中尾会長は「アイスでユウコウの味を楽しんでももらえは」と話した。(永江倫子)

長崎市の特産品である新種のかんきつ類ユウコウの果汁を混ぜた「長崎幻果実 ゆうこうチリンチリンアイス」が、6月1日から眼鏡橋周辺で販売される。ユウコウの生産者らでつくる「ゆうこう振興会」(中尾順光会長)と、長崎名物チリンチリンアイスの製造販売をする外尾冷蔵(小坂元一社長)が共同開発した。同市内でも限られた地域にのみ自生するユウコウを使ったアイスは初めて。無添加の白いゆうこうチリンチリンアイスは、さっぱりした味の特徴。収穫の時期によって、甘みが増したり、香りも変わるという。値段は従来のチリンチリンアイスと同じで一つ100円。一つ250円のカップ入りは県外で開かれる物産展で販売している。



きょうから販売「香り爽やか」チリンチリンアイス ユウコウ味お目見え

新入会員・交代の皆さんです

(敬称略)

< 5 月入会 >

支 部 名	長崎 (浦上地区会)			
氏 名	にしもと としあき 西本 俊昭			
企 業 名	(株) ツカネクリア			
役 職 名	営業係長			
企 業 住 所	〒852-8154 長崎市住吉町12-16			
T E L	095-847-1320			F A X
業 種	ビルメンテナンス業			
企 業 P R	<ul style="list-style-type: none"> ・清掃環境用品販売 ・ビルメンテナンス ・環境衛生 清掃に関するお悩み解決します。ローコストで効果的な手法、及び商品でお客様のニーズに応じたご提案をいたしております。			
スポンサー	上野 辰一郎			

支 部 名	佐世保			
氏 名	ばば のりひと 馬場 紀人			
企 業 名	(株)馬場長六商店			
役 職 名	取締役営業部長			
企 業 住 所	〒857-0016 佐世保市俵町10-7			
T E L	0956-23-1037			F A X
業 種	食品製造業			
企 業 P R	日本伝統の食文化を守りながら、新しい食生活への取組みを目指しています。			
スポンサー	村山 隆之			

支 部 名	諫 早			
氏 名	ふじわら まさゆき 藤原 雅行			
企 業 名	医療法人 慈栄会			
役 職 名	事務長			
企 業 住 所	〒854-0074 諫早市山川町2番地5			
T E L	0957-26-3741			F A X
業 種	病院			
企 業 P R	外科・胃腸内科・整形外科・肛門外科・放射線科			
スポンサー	藤原 貞明			

支 部 名	北松浦			
氏 名	よしなが しげたか 吉永 重隆			
企 業 名	(有)吉永造園建設			
役 職 名	代表取締役			
企 業 住 所	〒859-4525 松浦市今福町寺上免179			
T E L	0956-74-0706			F A X
業 種	建設業 (造園)			
企 業 P R	さわやかな緑の風を感じてほしい！ お庭のことならおまかせください。 自然を感じる緑をお庭に… 生垣、竹垣植栽、剪定、何でもご相談ください。			
スポンサー	稲沢 文員			

< 4 月入会 >

支 部 名	佐世保			
氏 名	おがわ あきこ 小川 あきこ			
企 業 名	Relieve ～リリーヴFP事務所			
役 職 名	代表者			
企 業 住 所	〒857-0801 佐世保市祇園町246-204			
T E L	080-3371-9033			F A X
業 種	ファイナンシャルプランナー・心理カウンセラー			
企 業 P R	社会保障・税金・保険・ローン・貯蓄・資産運用といった家計のトータルバランスを取るにより、より豊かな暮らしをご提案しています。			
スポンサー	千北 豊明			

< 会 員 交 代 >

支 部 名	北松浦			
氏 名	もり けいし 森 圭司			
企 業 名	(株)森システム			
役 職 名				
企 業 住 所	〒859-4773 松浦市御厨町 上登木免412番地6			
T E L	0956-75-2931			F A X
業 種	一般産業機械の設計・製造			
企 業 P R	ロボットを使った生産ラインや検査設備など、色々なご用命に対応しております。 お気軽にご相談下さい。			
前 会 員	重元 千恵			
スポンサー	稲沢 文員			



7月例会案内

●長崎支部 浦上地区会

日 時 7月17日(火) 午後6時30分
会 場 ギャラリー・ヘキサ
テ - マ 『発展を守り、攻める』(最終章)
報 告 者 プライム(株) 代表取締役
町田 貴代人 会員

町田氏が5月例会で報告されましたが、もっと深く掘り下げ、生き方と会社経営、さらに、これからの新たな事業展開、事業継承についてなど、時間の都合で5月の例会では報告出来なかったところを話して頂きます。

●長崎支部 出島地区会

日 時 7月25日(水) 午後6時30分
会 場 サンプリエール
テ - マ 個人密着型で価格競争に勝つ！
～自社の顧客にあった
本当のサービスを求めて～
報 告 者 (株)住吉電機 取締役
本村 崇 会員

15年の家電販売・修理を経て2008年ベスト電器FCとして長崎市大橋町に株式会社 住吉電機を起業、自社の顧客ニーズに応える会社をめざし、日々奮闘中の本村会員の現在を報告頂きます。

●大村支部

日 時 7月23日(月) 午後6時30分
会 場 長崎インターナショナルホテル
テ - マ 経営指針作りにチャレンジしよう
報 告 者 大村支部長 (株)ミヤタ 専務取締役
宮田 正一 会員

昨年、試行錯誤のなか試験的に開催され、本年より正式に活動が始まった長崎県の経営指針づくりセミナー「長崎がんばらば塾」。大村が先駆的に動き、さらには提案者ともなって実現した、県全体でのこの取り組みには、大村からたくさんの参加者が集い、大村の中小企業を力強くする糧の一つにしていきたいものです。そこで、年度のなるべく早い時期に経営指針を実践することの重要性と、魅力を伝える場を作りたいと考え、7月の例会を「経営指針にチャレンジしたくなる例会」としたいと思います。実際に経営指針を実践し成果を上げておられる宮田支部長の報告を中心に、なぜ同友会が経営指針作りに取り組むのか、そして経営指針のうち「長崎がんばらば塾」で学べるところと、すべての経営指針を完成させるための道案内を報告頂きます。

●北松浦支部

日 時 7月25日(水) 午後7時
内 容 北松浦地区交流会

他団体(JC YEG 法人会等)との交流(懇親会)を行い会員拡大を行う。

●諫早支部

日 時 7月20日(金) 午後7時
会 場 諫早観光ホテル 道具屋
テ - マ 未 定
報 告 者 (株)ソニック 取締役 支店長
山田 康成 会員

支部長として5年目を迎える山田氏。これまでの経歴や会社、同友会について報告して頂きます。

●島原支部

日 時 7月19日(木) 午後7時
会 場 ホテル南風楼
テ - マ 個人事業から会社組織へ
ビジョナリーカンパニーを目指して
報 告 者 昭和プランニング
大町 行弘 会員

永く続く住宅産業の経営とは何かを考え、若手経営者の新たな挑戦を報告頂きます。

●佐世保支部

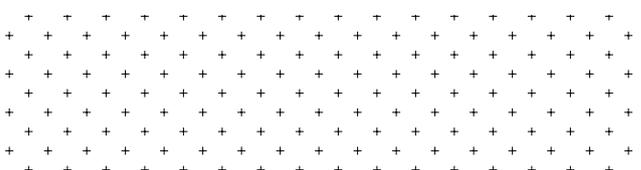
日 時 7月20日(金) 午後7時
会 場 佐世保市民会館
テ - マ (仮) 経営をよくするための第一歩
報 告 者 STSOL 代表
永末 勝宏 会員

現在、同友会で取り扱っている「企業変革支援プログラム STEP2」を利用して、どの様に取り組んだら、会員企業が経営を良くすることができるのか?議論を重ねています。その第一歩として、「現状を知る」ことが大切です。いろいろな分析手法を使うことで現在の状況を的確にわかりやすく理解することができます。自社の現状を目に見える形で理解しましょう。

●青年経営者会

日 時 7月24日(火)
会 場 同友会事務局
テ - マ 私の履歴書
報 告 者 (有)吉川商事
吉川 憂也 会員

入社してから二代目として事業継承するに当たっての経緯や、今後の展望などを報告いただきます。ぜひ、奮ってご参加ください。



理事会報告

2012年6月理事会 議事録 抜粋

2012年6月7日(木) つくば倶楽部

仲間づくりについて

- 1) 入会・交代・退会の承認について—入会4名、交代1名、退会4名を承認

報告・連絡事項

- 1) 政策関連について
- ①長崎県産業労働部との「第3回地域振興のための意見交換会」(6月4日(月))開催報告
 - ②長崎市との「第1回 長崎市振興のための意見交換会」(6月1日(金))開催報告
 - ③大村支部の動き
- 2) 中同協関係の件
- ①主要行事の紹介と参加促進
 - ②6月4・5日(月・火) 中同協行事
参加報告—松尾代表理事・山田事務局長(4日)・14時～中同協
中小企業憲章推進月間キックオフ集会(衆議院議員会館)
・17時30分～ 中同協 拡大中小企業憲章
・条例推進本部会議
(5日)・9時～九州・沖縄ブロック代表者会議
・13時～ 中同協 第4回幹事会
 - ③専門委員募集結果報告(敬称略)
政策委員会 西尾廣幸(長崎・出島)
障害者問題委員会 中村こずえ(長崎・出島)
原田良太(佐世保)
広報委員会 瀬頭信介(諫早)
地球環境委員会
社員教育委員会 永江正澄(諫早)
企業連携推進連絡会 内山洋二(長崎・浦上)
大崎悠史(長崎・出島)
経営労働委員会 松永いづみ(北松浦)
女性部連絡会 石橋ゆかり(諫早)
青年部連絡会 西村繁彦(青年経営者会会長)

確認事項

- 1) 役員会・委員会等 議事録作成・配布の件
- ・必ず議事録を作成・配布し、情報共有を図る。
 - ・会議の最後に決議事項確認を行う。
 - ・議事録作成は各組織で行い、①事務局へ送付。事務局より配信(e-doyu掲示版等)。
 - または②e-doyu掲示版やメーリングリストを活用し、直接配信願います。
- 2) 例会について(支部全体での関わり、例会づくりをめざして)
- ①受付—会費徴収等の有無に関わらず、支部で責任を持って行う。(5/26例会委員会で申し合わせ)
 - ②写真撮影—情報広報委員会が担当。(5/31 情報広報委員会で確認)
- 3) 案内文・案内先についての事務局からのお願い
「前回同様で構わない。」という依頼あり→「この内容で、このメンバーに」のお願い

会員消息

退会者(敬称略)

会社名	会員名	支部・地区会名
(有)海部商会	海部 静 男	長崎・浦上
(株)サンフールド	小川 秀 和	長崎・浦上
池田つよし土地家屋調査士	池田 剛	長崎・出島
(株)Y.K.システム	山本 浩 介	長崎・出島

会員数(6月7日現在)

	長崎	(出島)	(浦上)	大村	諫早	島原	佐世保	北松浦	合計
目標	229	109	120	55	60	40	100	40	524
期首	182	91	91	46	45	30	69	29	401
現在	179	90	89	46	47	31	70	30	403

メール本文をそのままe-doyuに掲載しますので、主催者(または担当者)が思いを込めて作成して下さい。また、案内対象先も同時に事務局宛お送り下さい。

協議・承認事項

- 1) 40周年記念事業について—岩崎実行委員長
・記念講演の撮影並びにDVDとして全会員への配布を許可頂きました。
- 2) 経営フォーラムについて—町田担当理事、山領実行委員長
- ①「開催趣旨」修正について—承認
 - ②分科会内容について—提案通り4分科会の内容・報告者を承認
 - ③予算案について—「参加登録目標300名」のみ承認。予算組は至急再検討後、理事会(メーリングリスト)に提案。
 - ④各支部動員目標について—委員会提案をめざす
長崎120(各60)、大村30、諫早30、島原20、佐世保70、北松浦30 計300名
 - ⑤「組織図」修正について(副実行委員長選任)
—承認(各支部・各地区会1名 副実行委員長を選任願います。)(推進担当の方でも可。)

※会場について現在再検討中。記念講演を「県立大学」で開催する可能性が発生。

※決議事項—「経営フォーラム基金」の取り扱いについて、町田担当理事に検討して頂く。

- 3) 五島支部設置に向けて—三役会—進め方を継続審議
- 4) 会費未納会員への徴収方法再徹底について—吉田財務委員長—承認
- ①当月分未納の場合 18～20日に引落結果が判明次第、事務局より電話で月内の納入を依頼。

②2ヶ月分未納の場合 事務局より電話で月内の納入日を確約。不履行の場合、支部長・地区会長・スポンサーに連絡し、納入を促して頂く。

③3ヶ月分未納の場合 事務局より電話で月内の納入日を確約。不履行の場合、支部長・地区会長・スポンサーに連絡し、納入を促して頂く。と、同時に翌月理事会にて氏名を公表。

※規約 第8条3 会員が3か月継続して会費を滞納し、本会より催告を受けてもなお会費を支払わないときには、4か月目の末日をもって退会したものとみなします。

- 5) 芦塚事務局員退職の件および後任募集について—西村専務理事(欠席のため山田事務局長)

芦塚局員より今月末付退職の申し出あり。
早急に募集を行うと同時に、新卒採用(増員)も視野に入れた方向性を提案します。
(理由) 県委員会の新設等、会活動の活性化に対応するため。

—承認。

しかし、その後討議となり、意見が出されたため、決議事項としては、①早急に後任の募集を行う。②新卒採用(増員)については継続審議

新事務局員紹介



この度、入局させて頂きました福田 優美子です。

初めのうちは業務に不慣れな部分もあり、ご迷惑をおかけすることもあるかもしれませんがご指導の程、よろしくお願い致します。

●会社名・住所・電話FAX番号・変更

森 忠敏 会員(諫早支部)

新会社: (株)メモリードモーターズ

新住所: 〒859-0403 諫早市多良見町市布1575-1

TEL 0957-43-4456

FAX 0957-43-5196